

ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

- ⚠ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。扉の反り、変色などの原因になります。
- ⊘ 粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。
- ⊘ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- ⊘ 扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないで下さい。指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⚠ 丁番などの可動部には手を入れないで下さい。挟まれてケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⚠ 棚受は確実に奥まで差し込んで下さい。差し込みが不十分な場合、棚板及び収納物が落下する恐れがあります。
- ⚠ 本製品の可動棚板一枚当りの最大収納重量は5kg、固定棚板は10kgです。この重量を超える収納物を載せないで下さい。破損・変形の原因になります。
- ⊘ 安全のため、破損・変形した扉や棚板などは、使用しないで下さい。

- 点検・お手入れについて
- 1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学繊維で空拭きして下さい。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取して下さい。汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。
- 2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
- 3. 本体に抗菌剤、消臭・芳香剤などが付着した場合、表面が変色する恐れがありますので、すぐに柔らかい布で拭き取して下さい。（材質：MDF）
- 4. 稼動棚板（樹脂製）は丸ごと水洗いすることが出来ます。カビの発生及び変形・変色防止のため水洗い後は必ず陰干しをして完全に乾かしてから取付けて下さい。
- 5. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状態を確認してください。ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

施工上の注意

- ❶ 建具の下地材には、必ず乾燥剤（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（クリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。
- ⊘ 組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損の原因になります。
- ⚠ 建具と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。建具をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないで下さい。やむを得ず直付けする場合は、建具木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。
- ⊘ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。はがす際に正面が破損する恐れがあります。
- ⊘ 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

マークの見方

- ⚠ この表示の欄は「留意を要することが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危険、損害の程度です。」
- ⊘ この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。
- ❶ この表示の欄は「必ず実施して頂く」指示内容です。

お得意様へお願い

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。施工後は、必ずお施主様に手渡し頂きまます様お願いします。

はじめに

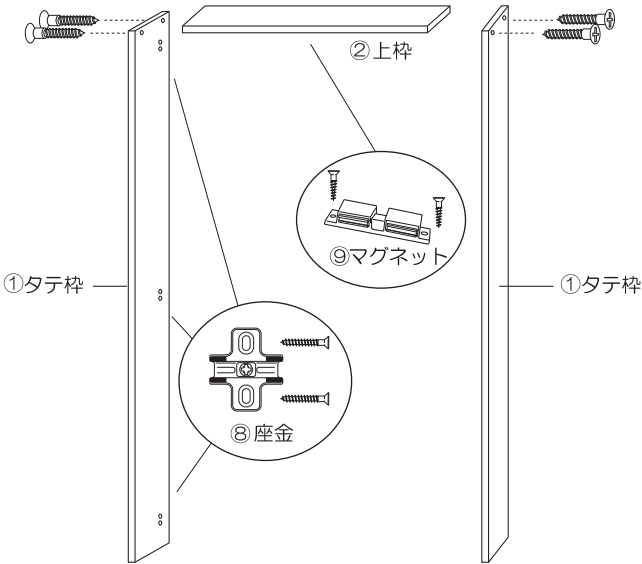
※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へ申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へ申し出ください。

《施工後は当社では責任を負いかねます。》

■施工手順

- 1 上枠にマグネット、タテ枠には座金を取り付けます。次に、枠の前後に注意して、組立ビスで固定しフレームを造ります。

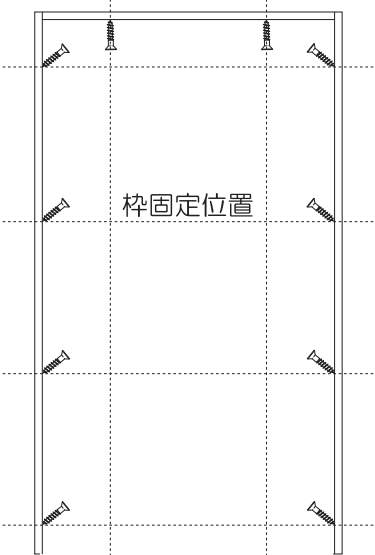


上枠には製造ロット番号の表示があります

枠裏面に 前後 のスタンプがあります。

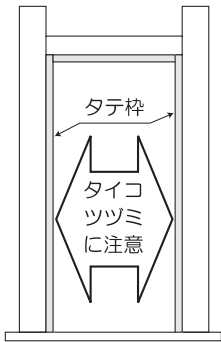
- 2 フレームを柱間に入れ、枠を固定します。

※さげふり・水準器を用い水平垂直を出しねじり等がない事を確認しながら施工してください。※この際タイコ・ツツミが出ないように特に注意してください。



左図の通り、所定の位置へ③固定ビスを使用して枠を固定します。固定後、⑤ビス隠しキャップを取り付けます。

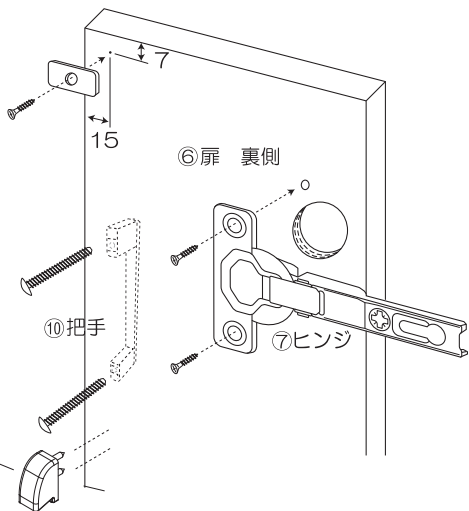
※WKN11/12の縦枠用固定穴は3ヶ所になります。



- 3 扉にヒンジ、枠に座金を取り付け、本体に扉を取り付けます。

マグネット受はビスが扉の木口から7mm、木端から15mmの位置に取り付けてください。

※TFN15/24は扉下部へマグネット（④）を取り付けます。詳細は同梱の施工説明書をご参照下さい。

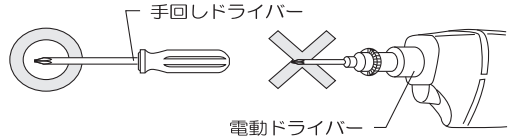


1・商品名：玄關収納庫	6	ホルムアルデヒド	内装仕上げ部分	下地仕上げ部分
2・タック株式会社	構	発散建築材料	発散区分	発散区分
3・発散区分：F☆☆☆☆	成	M D F	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
4・住宅部分表示ガイドラインによる	材	接 着 剤	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
5・ロット番号：梱包に表示	料			
	7	お問い合わせ先 http://www.kensankyo.org/		

部品表（組立前に必ずご確認ください。）				部品リスト	
枠同梱部材					
No.	品 名	数 量			
	T2SWKN**	11 W732 H900	13 W732 H1,800	15 W732 H2,354	
		12 W732 H1,200	14 W732 H2,024	24 W1,190 H2,024	
①	タ テ 枠	2	2	2	
②	上 枠	1	1	1	
③	枠組立・固定ビス	14	16	16	
④	TFN15.24用マグネット	-	-	2セット	
⑤	ビス隠しキャップ	10	12	12	
扉同梱部材					
No.	品 名	数 量			
	T2STFN**	11 W732 H900	13 W732 H1,800	15 W732 H2,354	
		12 W732 H1,200	14 W732 H2,024	24 W1,190 H2,024	
⑥	扉	2	2	2	
⑦	ヒ ン ジ	4セット	6セット	6セット	
⑧	座 金	4セット	6セット	6セット	
⑨	マ グ ネ ッ ト	1セット	1セット	1セット	
⑩	把 手	2セット	2セット	2セット	

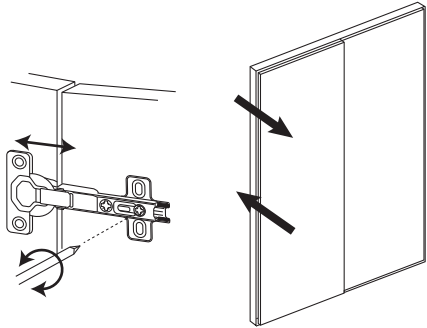
建て付け調整（ヒンジによる調整）

※建て付け調整は必ず、手回しドライバー（NO:2サイズ）を使用してください。※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



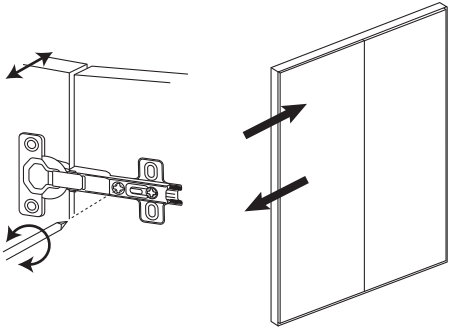
扉の前後調整（3mm）

座金の固定ネジをゆるめ前後の調整をした後、締め直してください。



扉の左右調整（4mm）

座金の固定ネジを締めたままで、ヒンジの調整ネジを回して左右調整した後、念の為座金の固定ネジを締め直してください。



収納扉納まり図

